

令和6年国民健康・栄養調査 調査必携 変更表

該当箇所	変更後	変更前（必携掲載内容）	備考
P17、P53 1 調査関係書類	<input type="radio"/> 生活習慣調査票 (57頁参照) <input type="radio"/> 地区要図 <input type="radio"/> 地区情報及び照会先記入用紙 (64頁参照)	<input type="radio"/> 生活習慣調査票 (57頁参照) <input type="radio"/> 地区情報及び照会先記入用紙 (64頁参照)	提出書類に地区要図を追加
P22 ⑤血液検査器具準備する器具	・真空採血管（生化学用、血 <u>算</u> 用（EDTA抗凝固剤入り）の2種類）	・真空採血管（生化学用、血 <u>糖</u> 用（NaF抗凝固剤入り）の2種類）	採血管の変更
P36 ◆採血 イ) 使用容器	・生化学用、血 <u>算</u> 用（EDTA抗凝固剤入り）の真空採血管2本を使用する。	・生化学用、血 <u>糖</u> 用（NaF抗凝固剤入り）の真空採血管2本を使用する。	採血管の変更
P37 ◆採血後 ア) 採血後の処理	・血 <u>算</u> 用（EDTA抗凝固剤入り）採血管に関しては、採血後、10回程度転倒混和し、 <u>そのまま冷蔵保存してお</u> く。 (注意) 血算用採血管は遠心分離を行わない。	・血 <u>糖</u> 用（NaF抗凝固剤入り）採血管に関しては、採血後、10回程度転倒混和し遠心分離を実施する。	採血管及び取扱いの変更
P37 ◆採血後 イ) 遠心分離	・生化学用採血管は1500G（遠心分離機の回転半径によって異なるが、約2,000～3,000rpm）室温で10分間程度回転させ、遠心分離する。	・生化学用採血管と血糖用採血管（NaF抗凝固剤入り）は1500G（遠心分離機の回転半径によって異なるが、約2,000～3,000rpm）室温で10分間程度回転させ、遠心分離する。	下線部の削除
P37 ◆検体の取扱い図	<pre> graph TD A[生化学用採血管 (血清分離剤入り) 6ml] --> B[室温で30分以上 放置] B --> C[遠心分離 (1500Gで10分程度)] C --> D[4°Cで冷蔵保存] E[血算用採血管 (EDTA抗凝固剤入り) 2ml] --> F[採血後、速やかに 転倒混和(10回程度)] F --> G[遠心分離(1500Gで10分程度)] G --> H[4°Cで冷蔵保存] </pre>	<pre> graph TD A[生化学用採血管 (血清分離剤入り) 6ml] --> B[室温で30分以上 放置] B --> C[遠心分離 (1500Gで10分程度)] C --> D[4°Cで冷蔵保存] E[血糖用採血管 (NaF抗凝固剤入り) 2ml] --> F[採血後速やかに 転倒混和(10回程度)] F --> G[遠心分離(1500Gで10分程度)] G --> H[4°Cで冷蔵保存] </pre>	採血管及び取扱いの変更

P39

◆血液結果のフ 　　アイルレイア 　　ウト

地区番号下2桁の数字を
入力すること。

男性は1、女性は2とすること。

地区番号上2桁の数字
入力すること。

男性は1、女性は2とすること。

地区番号上2桁の数字を
入力すること。

食後時間欄の追加